

## 米粒より小さな昆虫－マルグンバイー

マルグンバイ *Acalypta sauteri* は長さが2ミリととても小さく、カメムシの仲間です(写真1)。コケに潜んでおり、小さいこともあり普段あまり目にすることはないでしょう(写真2、3)。コケを食べる昆虫は蛾やガガンボ等とあまり多くありません。

マルグンバイ類は現在日本から7種が知られますが、滋賀県ではマルグンバイとミヤモトマルグンバイ *A. miyamotoi* の2種の分布が確認されており、両種とも飛翔性はありません。

マルグンバイを拡大すると(写真1)、頭にツノがあり、勇ましい姿をしています。乾湿が激しい環境で暮らしており、乾燥がきついコケには見られないようです。成虫で越冬し、秋口に新成虫が現れます。

コケは至る所に生えていますが、上記の適度な湿度が保たれたコケに生息し(写真2)、好みのコケの種類があるようです。

本種にとって、コケが豊富な自然が保たれた環境が必要なようです。

山本 雅則  
(滋賀県生きもの総合調査委員会)



写真1：甲賀市水口町産のマルグンバイ



写真2：マルグンバイが生息するコケ群落



写真3：コケ上のマルグンバイ